大浜第一病院広報誌

笑顔

スマイル

1月号 | 毎月1日発行〈第94号〉
2018年1月1日（月）
発行 大浜第一病院 広報委員会
発行責任者：大城康一

〒900-0005
沖縄県那覇市天久1000番地
TEL.(098)866-5171
FAX.(098)864-1874
http://www.omotokai.or.jp/ohama1/
大浜第一病院HP

2018年 新年のご挨拶

病院長 大城 康一（おおしろ こういち）

新年明けましておめでとうございます。日頃より皆様からは大浜第一病院へのご理解とご協力を頂き、心より御礼申し上げます。２０１７年は皆様にとってはどのような年でしたでしょうか？　昨年を振り返ってみますと、森友・加計問題、政治家の暴言パワハラ、北朝鮮の情勢、あおり運転、猟奇的殺人事件、相撲界の暴行問題・・・等、いろんな事がありました。政治、国際情勢を顧みますと・・・内閣支持率低下で、一時は揺らぎが見えた安倍一強体制でしたが、去年10月の衆議院選挙で自民党が大勝、一強体制は維持され、国内政治の安定はひとまず保たれました。米国では、外目にはトランプ政権の綱渡りの状況が続いていますが、これまでのところは致命傷を負わずに何とか凌いでいるように見えます。北朝鮮情勢についても、緊張が途切れない状態が続いていますが、これまでのところ軍事衝突は避けられています。

国内の財政再建に目を向けますと、一向に財政健全化はなされず、毎年国の借金は増える一方で、とくに高齢化社会に伴い国家財政を圧迫している莫大な医療は問題になっています。いわゆる団塊の世代（１９４７−５１年の第１次ベビーブームに生まれた方）がすべて75歳以上の後期高齢者となる２０２５年に向けて、医療（とくに慢性期医療）・介護ニーズが飛躍的に高まります。そのため、国は病院・病床の機能分化・連携を推進するための地域医療構想や、地域包括ケアシステムの構築を進めています。国は医療費の増大を産む高齢化社会に対して、病院の機能分化の促進及び在宅治療に向けての地域連携の強化を謳いながら、今後医療体系も画期的に変化させ社会保険費・医療費を抑制することを唱えており、わが国の医療を取り巻く環境はさらに厳しい状況となることが予想されます。

そのような状況の中、当大浜第一病院は、急性期病院として最先端の医療を地域の皆様に提供できる施設をめざして、毎年新たな診療に取り組んでいます。去年４月には女性腹腔鏡センターを設立し婦人科疾患（子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮内膜症など）に対する腹腔鏡手術を開始いたしました。院外から数多くの患者さんが紹介され、県内一の手術症例数をこなしています。お腹の傷口は小さくほとんど目立たず、３〜４日の入院で済ませる腹腔鏡手術は女性の皆様に恩恵を与えるものと思います。

また、地域の皆様の健康増進に役立てて頂けるよう、去年も例年通り毎月１回当院ふれあいホールで健康セミナーも開催し、多くの地域の皆様にご参加頂きました。さらに、11月には「こころとからだに向き合う」というテーマで、『Ｌａｄｉｅｓサロン』を開催いたしました。著名人をゲストとして、各専門医師とのトークショー、さらには健康相談やキッズ体験等、多くのブースを設け、約３００人の方が参加され大好評でした。

今後も、地域社会に貢献し、皆様方に満足していただける質の高い医療を提供するために職員一丸となって努力していく所存です。引き続きご理解・ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

今年の干支は「戌」です。「戌」は「滅びる」を意味する「滅」で、草木が枯れる状態を表しているという見かたもありますが、実際は「まもる」「植物が育っていき、花が咲き、実をつけ食べごろが過ぎた後、自分の実を落として、本体の木だけは守る」という意味だそうです。覚えやすくするために、動物の「犬」が割り当てられました。「犬」は社会性があり、忠実な動物です。人との付き合いも古く親しみ深い動物と言われています。犬はお産が軽いとされることから、安産については「戌の日」が吉日とされています。戌の干支の特徴として“勤勉で努力家”とあります。

枯れずに成長する、良い一年にするために、２０１８年は過去の失敗に落胆せずに、成功にも囚われず、前向きに、新しい目標に向かって努力することを、心がけて頂ければ幸いです。

それでは、今年一年が皆様にとって、そして病院にとっても良い年になりますよう祈念いたしまして、念頭のご挨拶といたします。

大浜第一病院基本理念

1. 医の原点は病者への奉仕にあります。患者様第一主義に徹した医療サービスに努め、患者様に満足して頂ける病院を目指します。
2. 医学・医術の進歩を取り入れた最良の医療を提供できるように常に研修に励み、地域社会に信頼される病院を目指します。
3. 地域の急性期医療ニーズに積極的に対応し、救急医療・夜間透析・健診活動・在宅医療など地域社会のお役に立つ病院を目指します。

セルフケア・カレッジ

こころとの上手な付き合い方
自分の機嫌を自分で取る

精神科医　平山 雄也

11月28日のヘルスケアカレッジにて「ココロとの上手な付き合い方〜自分で自分の機嫌を取る〜」と題して講演を行いました。

自分で自分の機嫌を取るためには「気づく」ことが大切です。講演は、「ココロとカラダの状態」「ココロとカラダの要求」「リソース」「自分へのダメ出し」これらに「気づく」ことの大切さについてお話したり、参加者の皆さんにワークを通してその場で「気づいて」頂いたりという時間になりました。また、「自分を宝物のように扱おう」というお話もさせて頂きました。

日常ではどうしても自分の内側よりも外側に意識やエネルギーが向きがちです。でも時にはこうして自分の内側に意識やエネルギーを向けて、そこで起きていることに気づいたり、ケアしたりという時間を少しずつでも持つことが、「自分で自分の機嫌を取って、ココロと上手に付き合う」秘訣だと思います。

セルフケア・カレッジ

ハートにまつわるエトセトラ

平成30年1月23日(火)19：00〜

心臓病からあなたをまもる処方箋

講師　循環器内科部長　前田 武俊

場所　大浜第一病院 ふれあいセンター

平成29年度 永年勤続医療従事者表彰式

去る１１月２２日に、沖縄県医師会主催によります平成２９年度永年勤続医療従事者表彰がダブルツリー by ヒルトン那覇首里城にて行われました。この表彰は勤続20 年の方に贈られるものであり、当院からは伊藤まゆみさん（安全管理対策室　看護師）、仲宗根真貴さん（10F 病棟　看護師）、砂川幸子さん（10F 病棟　看護補助者）、大城秀也さん（放射線科　放射線技師）、長嶺江里香さん（事務部）４名が受章されました。また、表彰式・懇親会には名誉院長、病院長、副院長、各所属長が参加してスタッフの永年の労をねぎらっておりました。皆さんおめでとうございます！！

左から仲宗根さん、伊藤さん、長嶺さん、大城さん

第31回 院内研究発表会

実行委員長　國仲（くになか） 永晃（つねあき）

１１月１８日（土）第３１回院内研究発表会が開催されました。今回の演題数は１４演題（診療技術部８題、看護部３題、医局２題、事務部１題）で、前回同様に大腸・肛門外科関連による発表が多く、今回は“チーム”として行ってきた題材が発表されました。また、新設の女性腹腔鏡センターは“超高齢化社会に向けて”というこの時世の題材もありました。そして各部署の業務への創意工夫した取り組みが随所に窺われる充実した研究発表会でした。

医療法人おもと会
大浜第一病院
〒900-0005
沖縄県那覇市天久1000番地
TEL (098)866-5171
FAX (098)864-1874
WEB http://www.omotokai.or.jp/ohama1/
大浜第一病院HP

編集後記

Text: 前田

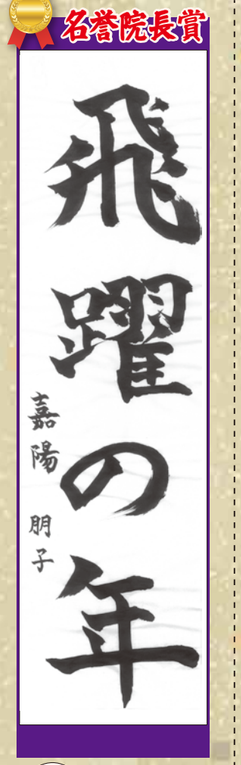
８回目の正月を沖縄で迎えましたうちなーむーくです。
小学生時代は内地の小学校で冬でも半そで登校していた私ですが、沖縄の気候に慣れ親しんだ結果、20度を切ると寒くて仕方がありません。
暖かい沖縄でも冬には感染症や動脈硬化に関連した病気が増えます。
皆様くれぐれもご自愛頂き、元気に冬を乗り越えてくださいね。

大浜第一病院広報誌 〈第94号〉

院内 かきぞめ大会 開催

各職員の今年の抱負や思いを「書」にしたためました。12月30日～1月11日まで1階フロアにて展示しておりますのでご覧ください。

名誉院長賞



「飛躍の年」
嘉陽　朋子

最初に私の目に入ってきました。きれいで優しい字に一目惚れです。また、来年の当院にふさわしい言葉だと感じましたので選びました。

名誉院長
知念　弘

院長賞

「鬼手佛心」
仲間　靖

「患者様に対して時折厳しいことをお話しすることがあっても、それは患者様を治そうとする優しい心によるもの」と解釈されます。医療だけでなく、社会全般に関わることなので選びました。

病院長
大城 康一

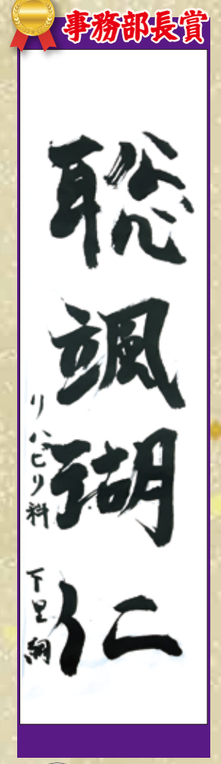
看護部長賞

「毎日前進」
長島　歩

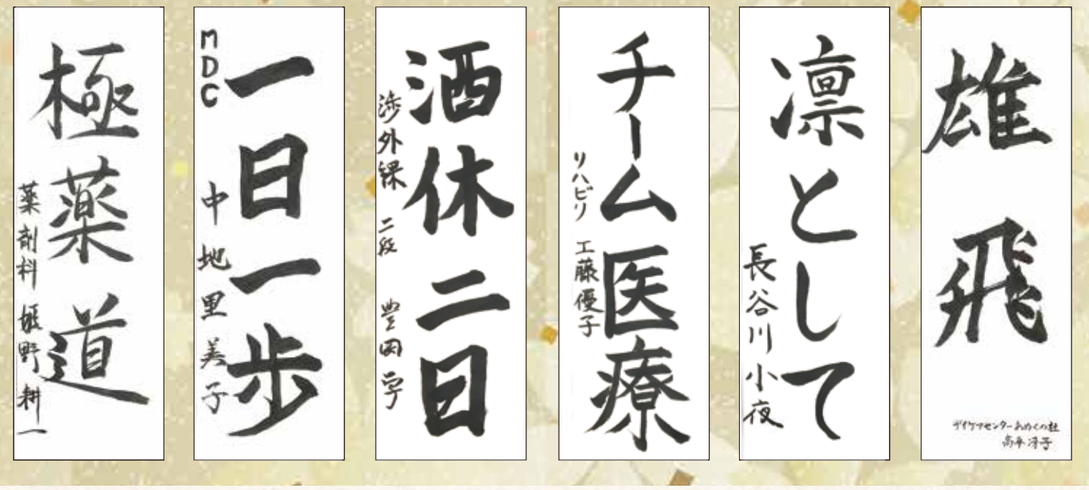
全体的なバランス感覚に優れており、一文字一文字が女性らしく繊細に書かれていると思いました。何よりも「毎日前進」という前向きな表現も気に入り選ばせて頂きました。

看護部長
津嘉山 みどり

事務部長賞



「聡颯湖仁」
下里　綱

家庭円満を願ってご家族の名前を一文字ずつ綴った造語。仕事面でも、聡：賢く、颯：勇ましく、湖：宝と思い、仁：広く深い心で対応したいという気持ちが伝わりました。

事務部長賞
平良 也寸志